

---

目次

.....

【1】 --- 教員コラム第 14 弾 第 3 回「コロナ感染下の読書」

整形外科学教室/高橋 謙治

.....

【2】 --- 紛失事件発生。情報をお寄せください

.....

【3】 --- [9/7(月), 9(水), 10(木)開催] UpToDate オンライン講習会

.....

【4】 --- 持ち込みできるドリンクは

.....

【5】 --- 貴重書全文アーカイブに『扶氏経験遺訓』27 冊分追加！

.....

[ Book Review ] ・ ・ ・ 編集後記にかえて

---

【1】 --- 教員コラム第 14 弾 第 3 回「コロナ感染下の読書」

整形外科学教室/高橋 謙治

.....

コロナがなかなか収束せず、多くの人が鬱々とした生活を強いられています。この状況下、少し前に読んだ「アウシュビッツの図書係」という本を思い出しました。感染拡大予防で行動が不自由な現在ですが、それとも比べものにならないような閉ざされたアウシュビッツ収容所。そこに実在した、たった八冊しか蔵書のない小さな「図書館」の図書係の物語です。主人公の少女は言います。「ここには紙の本が八冊と、そして生きた本が六冊あります」 生きた本とは物語を語って聞かせてくれる囚人達のことでした。「本を開けるということは汽車に乗ってバケーションに出かけるようなものだ。地球上のどれだけの国がいかなる柵をつくろうともかまわない。本を開けばどんな柵だって乗り越えられるのだから」少女のこの言葉が胸に突き刺さります。彼らはどれだけ書物に助けられ、書物を通して夢を見たのか、そんな想像をして本を手にとってみてもいいかもしれません。

最近印象深かったのは「ドキュメント 宇宙飛行士選抜試験」。JAXA が 2008 年に実施した宇宙飛行士選抜試験のドキュメントです。国際宇宙ステーション (ISS) の船長を日本人飛行士の中から出したいという JAXA の意気込み、宇宙飛行士に求められるリーダーの資質が明らかにされていきます (その後 2014 年に若田光一さんが船長に就任されています)。リ

リーダーシップと同時にフォロワーシップが重要という点が目から鱗でした。フォロワーシップというのはリーダーに従い支援する力です。ある時はリーダーに、ある時はフォロワーに、状況に応じてフレキシブルに自分の役割を判断し行動するという能力は、我々にもとても重要なはずでです。このような素養を持った若者を育てていくにはどうしたらいいのでしょうか。大きな課題です。

昨夜は日本から ISS が見えるらしいと離れて暮らしている子供達に伝えました。京都では雲がかかって見られず残念でしたが、東京からははっきりと見えたそうです。子供からなぜ ISS が光って見えるのかを聞かれました。残念ながら父は答えられず。ISS が大きなエネルギーで発光しているはずはないなあ… 太陽の反射光だろうか？ 専門外の知識でもすぐにネットで調べられる時代、それでも敢えて親子で静かな図書館に出かけ、いっしょに本を見ながら確かめてみたくなりました。太陽、地球、ISS の位置関係や軌道、宇宙に縁のない父はがんばって子供達に説明できるのでしょうか。本は親子の絆も深めてくれるような気がします。

※過去の教員コラムは、[こちら](#)です。

---

## 【2】―― 紛失事件発生。情報をお寄せください

.....

2020/8/20(木)12:00 頃、図書館 1 階閲覧席に置いていた利用者のパソコンが紛失しました。お心当たりのある方は、情報をお寄せください。

本を見に行くだけ、自販機に行くだけ、トイレに行くだけ、ちょっとした隙にかばん、財布、携帯電話、パソコン等を狙われます。貴重品の自己管理をよろしくお願いします。

---

## 【3】―― [9/7(月),9(水),10(木)開催] UpToDate オンライン講習会

.....

本学では、診療および学習支援のツールとして [UpToDate](#) を導入しています。日常の診療のサポートの他、研修医や医学生教育にも有用なツールです。

下記日程で提供元の Wolters Kluwer 社スタッフによる本学向けのオンライン説明会を開催します。皆様奮って御参加ください。

日程 : 9/7(月) 12:30~12:45  
9/9(水) 18:00~18:15

9/10(木)17:30~17:45

※同内容で行いますので、都合の良い回にアクセスください。

事前登録：不要

内容：UpToDateはどのようなコンテンツなのか、他の先生方がどのような時に利用しているか、どのような機能があるか、等

フライヤー：[こちら](#) 学内者限定のため、パスワードが必要です。

アクセス先：[こちら](#) liblec@koto~ 内線 9400 へお問合せください

UpToDate とは？

UpToDate®はエビデンスに基づいた臨床意思決定支援システムです。7,100名を超える医師が、その臨床専門知識を駆使して執筆、編集、ピアレビューを担当し、医学文献を細部にわたって評価しています。

UpToDateが患者ケアと病院パフォーマンスの向上に結びつくことが、80件を超える調査研究で確認されています。[UpToDate 日本語サイト](#)

---

#### 【4】——持ち込みできるドリンクは

.....

熱中症対策に小まめな水分補給が呼びかけられています。図書館でも館内へドリンクの持ち込みが可能です。

<OK> 蓋つきで倒れてもこぼれない飲料→ペットボトル、水筒、蓋付きタンブラー等

<NG> 倒れるとこぼれるおそれのある飲料と食べ物→缶コーヒー、紙パック、プラスチックカップ等

※情報検索室(現在閉鎖中)では飲食全般を禁止しています。

図書館ロビーは飲食可能です。

体調管理のため、適宜、図書館⇄ロビーを使い分けて御利用ください。

---

#### 【5】—— 貴重書全文アーカイブに『扶氏経験遺訓』27冊分追加！

.....

デジタルアーカイブ「[貴重書全文アーカイブ](#)」に、新たに27冊分追加しました。

【[扶氏経験遺訓](#)（巻之 1-25、附録巻之 1-3、薬方編上下、薬方編上下）】

安政 4 年 (1897) 刊

ベルリン大学教授フーフランドが書いた“Enchiridion Medicum”は、一度オランダ語に訳され、江戸末期に日本語へ重訳、『扶氏経験遺訓』として刊行された。翻訳したのは医者/蘭学者の緒方洪庵と、緒方と江戸の塾で知り合い義兄弟の約を結んだ緒方郁蔵である。

種痘に貢献したことで名高い緒方洪庵は 1810 年（文化 7 年）に岡山県（備中）に藩士佐伯瀬左衛門の三男として生まれた。生来病弱であり、自分は武士に適さないと自覚し、病苦の人を救う医の道を志す。江戸の坪井信道の門下に入り蘭学を学び『人身窮理小解』『視力乏弱病論』『和蘭詞解略説』『白内翳治術集編』など訳す。また、1836 年（天保 7）には長崎に赴き青木周弼、伊藤南洋らと『袖珍内外方叢』を共訳する。

この頃から洪庵の名も広く知られるようになり、1836 年に蘭医億川百記の娘八重と結婚し大阪で適々斎塾（適塾）を開く。適々斎塾の塾生は 600 人以上で外塾生も合わせると 2000 人とも 3000 人ともいわれ、かの福沢諭吉も塾生のひとりであった。

内科書『病学通論』生理学書『人身窮理学小解』など数多く訳し出版したが、中でも 20 年近くもの歳月をかけた『扶氏経験遺訓』は洪庵最大の力作であり代表作とされている。ぜひご覧ください。

---

[Book Review]

.....

五木寛之著「新・青春の門 第九部 漂流篇」（講談社 2019）

シベリアで学びと思索の日々を送る信介、新しい歌を求めてチャレンジする織江。たまたまこの本を見て再開していたのを知りました。第八部から 23 年経っていたとは！驚きです・・・高校から大学まで読んでいました。

主人公信介の生まれ故郷である筑豊時代から始まり、東京、北海道等をさすらい、出会いと別れを繰り返し成長していく青春の話。第八部は 25 才の信介がシベリアからヨーロッパを目指す所で終わっていた。

それから 20 年以上経ち、懐かしいと読みながらも、第九部はまだ 1961 年が舞台で信介は 26 歳、織江は 24 歳。青春の真ただ中。当時のシベリアは分からないが、織江の住む東京は随分と豊かな社会として描かれている。

日本に帰るというところで終わったが、作者がインタビューで語った「信介が 29 才で筑豊に帰り、ぼた山の上から変わった筑豊を眺め下ろしながら人生を振り返る、青春が終わり、これから新しい時代が始まるという形で完結させたい」

完結になりそうな第十部を期待します。(M. H.)

(京都府立図書館所蔵 [K-Libnet](#) で貸出が可能です)

KPUM Library Booklog : <http://booklog.jp/users/kpumlib>

この本のページ : <https://booklog.jp/item/1/4065153352>

---

図書館メール News 第 420 号 2020. 8. 21 発行 (隔週金曜日発行)

編集・発行 : 京都府立医科大学附属図書館

[library@koto.kpu-m.ac.jp](mailto:library@koto.kpu-m.ac.jp)

<http://www.kpu-m.ac.jp/k/library/>

---

(図書館メール News のバックナンバーはこちらから↓)

<http://www.kpu-m.ac.jp/k/library/webservice/mailnews.html>